平成30年度　前期 理解度テスト2 試験問題
科目名　Javaプログラミング1
担当教員　石原真紀夫
実施日付　7月13日（金）5限目（1組2組合同A11）
持ち込み　~~許 可~~・禁 止

情報工学科　年　組　学籍番号

氏名

点／102 点

【問 1】次の各文の内容が正しい場合は「○」を、間違いの場合は「×」を答えなさい。　〔各 2 計 40〕

(1) 論理演算子の演算結果は true または false です
(2) 論理演算子は演算結果として String 型の値を返します
(3) 条件演算子 ? : は 3 項演算子です
(4) 条件演算子 ? : の演算結果は常に int 型です
(5) for 文は前判定ループです
(6) do while 文は前判定ループです
(7) for 文の「更新の式」は最初に 1 度だけ実行されます
(8) 後判定ループは必ず 1 度は繰返し処理部が実行されます
(9) break 文を用いると実行中の繰返し文から抜けることができます
(10) 変数のスコープとはその変数を参照可能なコード上の領域です
(11) 配列は同じ型の複数の変数を管理できます
(12) 1 次元配列の最初の配列要素の指定は添え字に 0 を書きます
(13) 1 次元配列の最後の配列要素の指定は添え字に-1 を書きます
(14) 配列の添え字に 1.5 などの実数を指定することができます
(15) 1 次元配列はその長さを超えた配列要素には値を代入できません
(16) 一般に n 次元配列の配列要素を指定するには n-1 個添え字が必要です
(17) 配列変数は基本型変数の 1 つです
(18) 基本型変数にはクラス型変数があります
(19) クラス型変数の配列は作ることができません
(20) クラスのオブジェクトは new 演算子を用いて確保します

■解答欄 1

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20

【問 2】論理演算子を用いたコードです。各コードを実行した直後、変数 b が true となるよう空欄を true または false で埋めなさい。変数 b が true にならない場合は「×」を答えなさい。　〔各 2 計 10〕

```
(1)  boolean b = (![ (1) ]) == [ (1) ];
(2)  boolean b = true && [ (2) ];
(3)  boolean b = (false == [ (3) ]) || false;
(4)  boolean b = (false && false) || [ (4) ];
(5)  boolean b = (true ? false : true) == [ (5) ];
```

■解答欄 2

1	2	3	4	5

【問 3】次は繰り返し文を用いたコードです。各コードを実行したときの画面出力を答えなさい。何も画面出力されない場合は「×」を答えなさい。　〔各 2 計 12〕

```
(1)  int i=1; while(i<2){i++;System.out.print('*');}
(2)  int i=5; while(i<2){System.out.print('*');i++;}
(3)  int i=0; do{i++;System.out.print('*');}while(i!=2);
(4)  for(int i=0; i<4; i+=1) System.out.print('*');
(5)  for(int i=0,j=0; i-j<3; i+=2,j++) System.out.print('*');
(6)  for(int i=0; i<3; i++){
       for(int j=0; j<i; j++) System.out.print('*');
       System.out.print('-');
     }
```

■解答欄 3

1	2	3	4	5	6

【問 4】次の配列を用いた説明文の空欄を適切に埋めなさい。　〔各 2 計 12〕

```
int[] ary1={1,2,3};
int[][] ary2={{4,5},{6},{7,8,9}};
```

(A) ary1[1]は[1]です
(B) ary1[ary1.length-1]は[2]です
(C) ary2[0].length は[3]です
(D) ary2[1][[4]]は[5]です
(E) ary2[[6]].length は 3 です

■解答欄 4

1	2	3	4	5	6

【問 5】下のコード 1 において〔 ★ 〕の部分を(1)~(4)のそれぞれに置き換えて実行したときの画面出力を正確に答えなさい。　〔各 2 計 8〕

(1) if(i==j)continue;　　(2) if(i>j)continue;
(3) if(i*j==1)break;　　(4) if(i+j>2)break;

■コード 1

```
for(int i=0;i<3;i++){
   for(int j=0;j<3;j++){
      〔 ★ 〕
      System.out.print(j);
   }
   System.out.println();
}
```

■解答欄 5

1	2	3	4

【問 6】次は変数に関する説明文です。選択肢より適切な単語を選び空欄を埋め説明文を完成させなさい。空欄〔5〕は数値を答えなさい。〔各 2 計 10〕

〔変数について〕

変数には〔 1 〕変数と〔 2 〕変数があります．int 型や double 型の変数は〔 1 〕変数であり，〔 3 〕変数やクラス型変数は〔 2 〕変数です．基本型変数には値が格納され，参照型変数には値と変数を関係付ける〔 4 〕が格納されます．例えば，コード 2 を実行したとき a[1]の値は〔 5 〕です．

■コード 2

```
int[] a={1,2,3};
int[] b=a;
b[1]=0;
```

■選択肢

int 型　基本型　参照型　配列　添え字　参照　クラス　オブジェクト

■解答欄 6

1	2	3	4	5

【問 7】次は足し算ドリルです。出題される問題の解答を入力すると最後に結果が表示されます。解答が間違っている問題はその解答に続けて正しい答えが表示されます。空欄を埋めてコードを完成させなさい。　〔各 2 計 10〕

■コード 3

```
import java.io.*;
class Final7{
   public static void main(String[] args) throws IOException{
      BufferedReader br;
      br=new BufferedReader(new InputStreamReader(System.in));
      int[ 1 ] qs={{-2,5},{7,4},{9,-1},{3,3},{5,-6}};
      int[] ans=[ 2 ] int[qs.[ 3 ]];
      int pt=0;
      System.out.println("【足し算ドリル】各 2pt");
      for(int i=0;i<qs.[ 3 ];i++){
         System.out.print(qs[i][[ 4 ]]+"+"+qs[i][1]+"=? ");
         ans[i]=Integer.parseInt(br.readLine());
      }
      System.out.println("【結果】");
      for(int i=0;i<qs.[ 3 ];i++){
         System.out.print(qs[i][0]+"+"+qs[i][1]+"="+ans[i]);
         if(qs[i][0]+qs[i][1]==[ 5 ][i]){
            pt+=2;
         }else{
            System.out.print("("+(qs[i][0]+qs[i][1])+")");
         }
         System.out.println();
      }
      System.out.println("加算ポイント"+pt+"pt");
   }
}
```

■実行結果

```
【足し算ドリル】各 2pt
-2+5=? 3
7+4=? 11
9+-1=? 10
3+3=? 6
5+-6=? 1
【結果】
-2+5=3
7+4=11
9+-1=10(8)
3+3=6
5+-6=1(-1)
加算ポイント 6pt
```

■解答欄 7

1	2	3	4	5

☆☆独自アンケートへの回答のお願い☆☆

本講義で実施しました裏面記載の各取り組みについてみなさんのご感想を是非お聞かせください。**裏面の各項目について 5 段階でご記入をお願いします!!**

※みなさんの成績には影響しません

「お疲れ様でした!!」